

内鮮關係通牒書類編冊

382000

*Relations concerning the Koreans.*

10/02

28

国立公文書館

分類

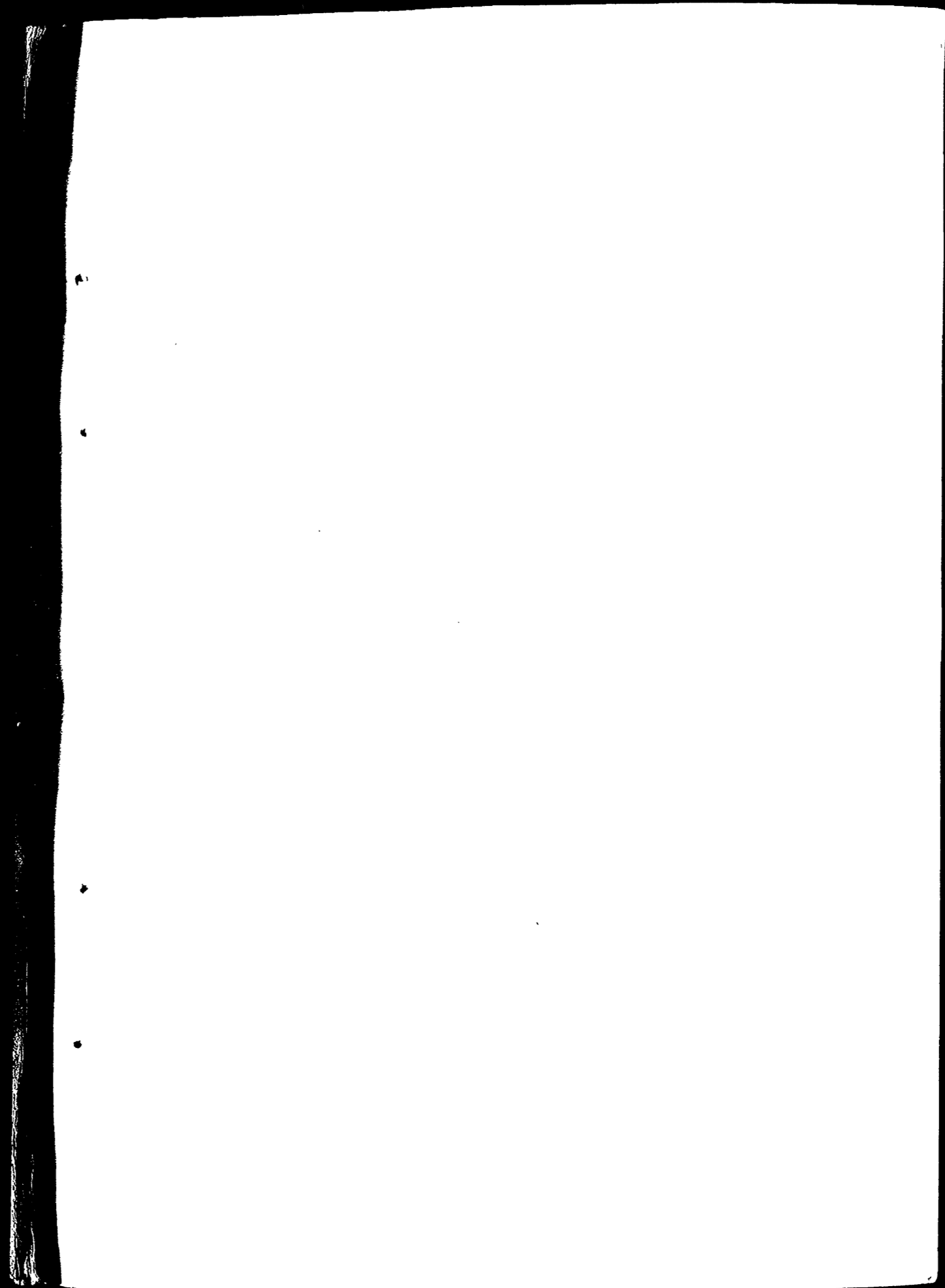
3 A

排架番号

15

29 4-1





知

382001

保發局保發甲第三號  
昭和二十年九月一日

9

谷地方長官殿

朝鮮居留長  
兵原保長  
警政保長

保衛隊  
保衛隊  
保衛隊

警務局長  
警務局長  
警務局長

厚生省勤勞局長  
厚生省健民局長  
內務省管理局長

朝鮮人集團移入勞務者等之緊急措置件

閔釜連絡船之運行、豫定ニテ、朝鮮人集團移

入勞務者、次ノ如ク優先的ニ計畫輸送ヲス

尚石炭山等ニ於ケル熟練勞務者ニテ在留希望者

裏面白紙

在留ヲ許容スルコト 但シ事業主ニ於テ強制的  
勸奨セザルコト

輸送順位ハ概ネ土建勞務者ヲ先ニシ石炭山勞務者  
ヲ最後トシ地域的順位ニ付テハ運輸省ニ於テ決定

ノ止關係府縣。統制會 東亞交通公社ヲ連絡不

(2) 所持品ハ携行シ得ル手荷物程度トシ有家族者ノ家

族モ同時ニ輸送ス

(3) 内地輸送中ノ辨當ニ付テハ考究中ナルモ可及的多

量ニ携行セシメルコト

(4) 金山迄<sup>迄</sup>事業主側ヨリ引率者ヲ附シ金山ニ於テ引

渡ノコト

裏面白紙

(5) 目下ノ處輸送能力僅少(一日平均千名以内)ナルヲ以テ輸送完了迄ニハ相當長期間ヲ要スル見込ニ付其ノ間動搖セシメザル様指導スルコト

(6) 歸鮮者ノ世話ハ地方興生會ヲミテ極力之ニ當ラシムルト共ニ下関ノ宿泊施設ニハ中央興生會經營ノ移入勞務者教養施設ヲ利用セシムル方針ナルコトニ歸鮮セシムル迄ハ現在ノ事業主ヲミテ引續雇傭セシメ置キ給與ハ概不從來通ト爲スベキモ八月十五日以降差當リ左ノ如ク措置スルコト

(一) 従前通就業スル者ニ付テハ事業主ヲシテ

(1) 賃金ニ付テハ賃金規則ニヨリ従前通給與シ得ル

382003

如ク計算ヲ行ハシメ置クコト

(2) 賃金ノ支給ニ付テハ當座ノ小遣トシテ必要ナル程度ノ現金ヲ本人ニ年渡シ殘額ハ各人名儀ノ貯金トナシ事業主ニ於テ保管シ置クコト

(3) 右措置ハ鮮内トノ通信杜絶ニ依ル已ムヲ得ザルモノニシテ將來歸鮮ノ際貯金ハ必ず本人ニ渡ス旨ノ周知徹底ヲ圖ルコト

(二) 休廢止工場事業場及操業工場事業場ノ移入朝鮮人勞務者ニシテ就業セザルニ至リタルモノニ對シテハ事業主ハ差當リ標準報酬日額ノ六割以上ノ休業年當リ支給シ宿舍食糧等ニ付從來通ノ取扱ヲナス

裏面白紙

382004

コト  
今後ノ状勢ニ依リ右休業手當ノ支給ニ要スル費用ニ就テハ國家補償ノ途ヲ講ズルコトアルベキ

コト

三 象族送金(補給金ヲ含ム)ニ就テハ別途指示ス

三 集團移入勞務者ニシテ遊休ノ儘事業主ニ雇傭セラ

レアル者ニ對シテハ<sup>其の</sup>地方廳ニ於テ適宜道路工事・焼

跡清掃其ノ他臨事作業ニ集團勞力トシテ稼働セシ

メ差支ナキコト但シ此ノ場合ハ從來ノ事業主ト勞

務者ノ關係ハ其儘トシ一轄之ヲ使用シ稼働場所ハ

概テ南府縣内ニ止メ之ヲ掌握困難ニ至ルガ如キ方

裏面白紙

382005

面へ、轉用ハ差控ヘルコト

尚此ノ場合ニ於ケル給與ニ付テハ昭和二十年七月  
三十日附勤發第八四八號、二〇管局第一二九號、  
厚生省勤務局長及軍需省管理局長通牒「勤勞協力  
ヲ爲ス者ノ給與」ニ依ラシムルコト

四一般既任朝鮮人ノ歸鮮ニ就テハ歸鮮可能ノ時機ニ  
至ラハ詳細指示スルニ付ソレ迄現住地ニ於テ平靜  
ニ其ノ業務ニ從ヒ待機スル様指導スルコト

尚集團一般朝鮮人勞務者ニ對シテハ可及的從來ノ  
雇傭主ヲシテ引續雇傭セシメ食住等ハ從來通リ取  
扱ヲナサシメ就勞先ナキ場合ハ可及的一轄一組又

裏面白紙





受取

白猪者 長保局

移入朝鮮人 習務者 措置之付テハ 九月一日附 警  
 備 第三路 通牒ニ依テ 市 現意 中ノ下、存  
 力ル 及 奉 業 場、於テハ 之 養テ 養テ 養テ 養テ 養テ  
 也シトヤ 爲メ 下 固、 持多、 殺到、 飲 食ニ 又  
 窮ル 状況 之 呈シ 之ハ 台 解 内ニ 於ケル 人心ニハ  
 甚ク 之ヲ 動 搖シ 去、 シテ、 シテ、 以テ 送 還、 就テハ  
 仲ノ 科 画 的 輸 送ニ 依ル 上 共、 解 雇ニ 際シテハ 亦 定  
 一 金 示シ 又 給ニ 標 榜、 中 記 意 相 成 度ニ

長野縣

五月十五日

長保局

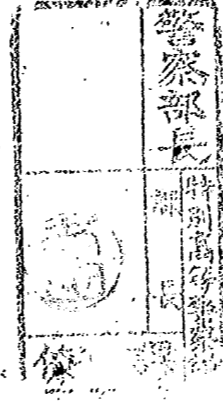
五月十五日

長保局

382009

保券第三九號

昭和二十年九月十五日



各府 警務局長  
大阪府 治安部 第二課長  
警務部 第三課長

勤員課長

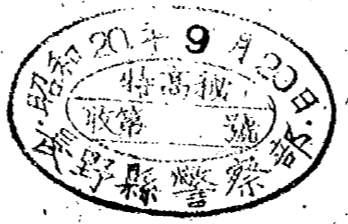
深倉

内務省警務局保安課

警務部 警務局長

警務部 警務局長 警務部 警務局長

警務部 警務局長 警務部 警務局長



裏面白紙

382010

紙寫ノ通運檢査官紙局業務局長ヨリ各鐵道局長宛通牒ナリ  
レ以テ右御念ミ上關係鐵道局ト連絡シ檢査ノ賜請ヲ期セラ

裏面白紙

382011

海軍輸送部第二〇號

昭和二十年九月十二日

鐵道總局 事務局長

各 局 長 殿

關釜並ニ博釜航路經由旅客輸送ノ件

關釜並ニ博釜航路ハ去ル八月廿八日ヨリ其ノ渾航ヲ開始シタルモ現有輸送力ヲ以テシテハ到底一般ノ輸送要請ニ應ズルコト至難ニツキ當分ハ一般旅客ノ取扱ヲ停止シテ專ラ半島出身軍人軍屬並ニ鎮戍移入勞務者（徵用歸人勞務者）ノ集團復員輸送ニ充テルニテ計輸送方取計相成度

裏面白紙

382012

一、編 題

記

博多發 自九月十五日 迄九月末日  
仙崎發 自九月十七日 迄九月廿九日

十月一日 以後ハ本省月間計數 除ニ依ル  
之方爲九月廿九日迄ニ本省に到着スル船々 除ニ依ル

二、取 扱 箇 條

貨目無人運搬、集積移入等被悉

該漢順位ニツキテハ關係事項等發部ト連絡ノコト

三、備 考

船名	定員	備考
仙崎	安丸	四五〇〇 下り命日海陸日
博多	安丸	四五〇〇 下り命日海陸日

裏面白紙

裏面白紙

382013

西船屋割當 (三等ノミ)

相船券各一日平均

毎多券各一日平均

(東) 五〇〇 (名) 五五〇 (大) 六〇〇 (廣) 五〇〇 (四) 一〇〇

其ノ他

(一) 門一三一〇 (新) 一〇〇 (仙) 一〇〇 (札) 一五〇

(二) 輸送計費ハ船便指定ノ前日正午迄ニ下關又ハ博多ニ到着スル如ク計行ノコト

(三) 荷物ハ半製品ノ物行ノミニ制限シテ荷物及小荷物被旅行用品ハ之ガ取扱ナラサズ

(四) 食糧ハ其クモ釜山到着迄ニ必要ノモノ七日分旅行ノコト (列船四二日船行二日船

内一日換糖二日)

(五) 船便指定船集団代表ニ所轄セシムルノ外集団名簿ニ記シテ旅行セシム

382014

電報譯文

昭三〇九八 梅子

送新長也

由務省送係局長

日一之通輝ノ通クニ及ト建以テ付テ早

急ニ送還スル相察

ナク九ノ以テ右該當ノ向ノ素カニ所轄鉄

道局 旅券課 連路口ニ度七

了

係

警察部用

裏面白紙



382015



134



イニシキ...  
ハカシキ...

イリ...  
...

裏面白紙

382016

モソツキフニソウカニスルモソノハベツトヨリヨセサル  
ニゴトトナリタルモソツキキヤイトウアルムキハスミヤカニ  
シヨカツネホウキツトウキヨクワリヨカンカヘレンヨクネキヤヤラシタ  
シレニヨサ

ニ・〇・〇

裏面白紙

國收號外

國民勤勞動員署長

382017

半島人勞務者送還ニ関スル件

標記ノ件ニ南滿洲國事業場倒閉ノ種々照會有之趣ニモ知ハ  
上向ヨリ集團移入半島人勞務者、自由半島人勞務者、留鮮者  
者ノ順位ヲ以テ逐次貸車輸送ニ依リ送還致スコトト決定相成タル  
ニ付此旨ニ場事業場主ニ示達スルト共ニモ知了知ノ上之ガ輸送等  
ニ関心請概ノ準備相成標可然指導スベシ

昭和二十年九月十五日

敬告 農 部 長

記

一人ニ搬送送還セラルルニモ集團 自由半島人勞務者ニ対シ輸送等南  
スル請概ノ準備ニ付テモ既ニ關係警察署長ヨリ各ニ場事業場  
主ニ示達セラレタル等モ南關係動員署長ハ該警察署長ト  
聯絡接カシ知取扱ニ遺憾ナキヲ期スルニ付

ニ自由半島人勞務者ニ南ニテ、場事業場其他ノ場所ニ集團  
的ニ就勞シ居リタル者ニシテ留鮮ヲ希望スル者ヲ指ス

集團移入半島人勞務者、集團的就勞ノ自由半島人勞務者  
ヲ除ク半島人勞務者及留鮮者(一定ノ職業ヲ有スル者、自營業  
者等)ニシテ留鮮ヲ希望スル者ニ対シテノ送還ニ付テハ送還決定書  
ニ付關係警察署長ニ協力現住地ニ於テ平靜ニ其ノ業務ニ從ヒ  
行機スル標指導スベシ

四縣送還計画ニ付テハ目下輸送關係機關ノ聯絡策定中ニ付決定次第  
通報ス尚石炭山等ニ於テ留鮮方務有ニシテ在留希望者ハ在留  
セシメ差支ナキモ南關係主ニ於テ強制的ニ送還スルガ如キ事ヲ標不  
分指導スベシ

五縣留鮮係ニ付テハ南滿洲國ハ場行ノ得ル至高物程度トシ自家族者ノ  
家族モ同時ニ送還スベシ

六、金山送還必不事業主側ノ引手有ラ附シ金山ニ於テ引渡ラナキ  
ノトス

六輸送能力關係を輸送完了迄に相対長期間を要する見込に付其

向動操をレハル様關係機關に於て指導スルベシ

七、帰郷セシム迄に現在事業主ヲシテ引續き雇傭セシメ置キ給与ハ概不從  
來通上為スルモ、自十五日以降是為リセ、如ク措置スルモトス

（從未通就業者者三付ノ事業主ニヨリテ

一、賃金付テ賃金規則ヲ從前通給与レ得ル如ク討算ヲ行ハシメ置ク

二、賃金ノ支給付テ座ノ小遣トシテ必要ナル程度ノ現金ヲ本人ニ手渡シ

三、額ハ各々名義貯金トシテ事業主ニ於テ保管セシメ置ク

四、右措置ハ舞内トシテ通存杜絶依ル乙コト得ルモノニシテ將來帰郷際

貯金ハ必ス本人ニ渡シ首事業主ヲテ固知徹底ヲサレハレト

五、休業止場事業場移入半島人方務者ニシテ就業者ハ至リタルニ

一ニ付テハ事業主ハ差為リ標準報酬日額ノ六割以上ノ休業手当

ヲ支給シ宿舎食糧等付從來通ノ取扱ヲ去メト（今後ノ狀勢依

リ若休業手為ノ支給ニ要スル費用ニ就テ國家補償ノ金ヲ請ヒ下付

三、家族運金（補給金ヲ含ム）ニ就テ別途指示ス

八、集團移入半島人ノ方務者ニシテ依テ偶事業主ニ雇傭セラレタル者

對シテハ適宜道路ノ事燒跡清掃其他臨時作業集團方カトシテ

被働セシメ差支ノ旨其ノ筋カク通據シテ付本具於ケル之カ連

帯ニ付テ別途指示スル旨ナルモ管内ニ於テ若シ如キ臨時作業ヲセシムル

討算相之場合ハ縣ニ付テ稟向シテ高此場合給與付テ八分三

日國幣第一〇號本取通據別紙ニ勤勞力カヲ為ス者又ハ機動配置

セラレタル者對シテ給與三割ニ付シテ依ルベシト

九、集團自由業者方務者對シテハ可及的從來雇傭主ヲシテ引續

雇傭セシメ食糧住居從來通ノ取扱ヲナシテ就労先主場合ハ可

及的（薪）給與ハ餘場毎ニハ三割換セシメ様相尊重スル

指示事項

382619

一 終戦ニ伴フ興王事業ノ應急措置ニ関スル件

内地在在朝鮮人及台湾人ニ対スル處遇ノ如何ハ時局ノ急変ニ伴ヒ其ノ及ボス所極メテ広ク且ツ重大ナルモノ有ルベキヲ以テ誠意ヲ盡シテ之ニ當ルベク興王事業ノ実施ニ関シテハ差當リ不必要又ハ実施不可能ト為リタル事業ハ之ヲ停止シ其ノ他ノ既定計畫事業ハ之ヲ繼續実施スルト共ニ左記事項ニ付特段ノ力ヲ効カレタシ

(一) 時局ノ急変ニ因ル人心ノ不安動搖ヲ除去シ一時ノ感情ニ隨リスハ偏見誤解ニ基ク輕舉妄動ヲ防止スルコト

(二) 帰鮮又ハ帰台ヲ希望スル者ニ対シテハ其ノ希望ヲ容レ乗車船券ノ購入其ノ他出発準備ニ関スル斡旋及旅行途中ノ誘導・休憩所ノ提供・食料ノ斡旋並ニ貧困者ニ対スル旅費ノ

支給其ノ他適切ナル保護ニ付萬遺憾ナキヲ期スルコト

(三) 尚引續キ内地在在ヲ希望スル者ニ付シテハ従前ノ處遇ヲ變更スルコトナク飽ク迄ニ誠意ヲ以テ終止シ特ニ失業有救済・職業指導・生活相談其ノ他ノ保護指導ニ必要ナル措置ヲ講ズルコト

(四) 一般内地人ニ対スル啓発施策ハ此ニモ之ヲ記ムルコトナク進シテ興王事業ニ協力セシムル様カムルコト

打合せノ要

一 情報連絡ニ関スル件

終戦ニ伴フ内地在任朝鮮人ノ動向並ニ朝鮮内ノ情報等ニ確実ニ把握シ之ガ機宜ノ対策ヲ講グルノ要アリト認メラルヲ以テ今一後中央地方相互ニ機ヲ失セズ情報交換ヲ緊密ナラシムル為

共ニ連絡方法等ニ関シ打合せニ付シ

二 休業勞務者ノ應急措置ニ関スル件

工場事業場ノ事業廢止ニ伴ヒ移入勞務者ノ大多数ハ休業ノ儘現場ニ在リテ帰郷待機中ナルモ其ノ間漸次勤勞意欲減退スルノミナラズ自然好マシカラザル言動ヲ醸成スルノ虞アリ依テ之ガ臨機就勞指導其他適當ナル應急措置ニ関シ打合せニ付シ

三 帰郷者ノ計畵輸送ニ関スル件

集團勞務者ヲ計畵輸送ニ関シテハ既ニ厚生省ヨリ指示セラレタ

ル所ナルケ一般在任朝鮮人ノ帰郷輸送計畵ニ付キテハ今後僅

實ナル資料ニ基キ輸送問題係当局ト緊密ニ連絡シ具體的計畵ヲ樹立スル方針ヲ以テ之ガ円滑ナル實施方法ニ関シ打

合せニ付シ

四 失業若対策ニ関スル件

一般朝鮮人勞務者並ニ中小工業関係者ニ付テハ時局急変ノ影響ニ依リ其ノ職ヲ失ヒ生活困窮ニ陥ル傾向甚キニシテアラズ依テ之ガ就勞斡施転職指導等ニ関シ打合せニ付シ

五 補助金ニ関スル件

終戦ニ伴ヒ昭和二十年度下半期ニ於ケル興生事業ノ新計畵左ノ通り決定シ之ガ經費交付ナルノ見込ナルヲ以テ速急ニ之ガ事業ヲ實施シ所期ノ目的達成ニ遺憾ナク期シタリ之ガ實施方法等ニ関シ打合せニ付シ

裏面白紙

尚既未補助金中終戰一停、事業中止シテ、事業  
ニ付テハ、其ノ半額ヲ減額補助ス、下共ニ支會事務片  
設置費及興生相談所經費ハ、増額補助ノ見込ナリ。

記

時局對應協議懇談會

382021

補導員其他指導的地位ニ在ル朝鮮人ヲ支會毎ニ會同  
セシメ人心ノ安定ノ歸鮮者輸送計畫、失業救済等、  
時局ノ急變ニ依ル影響及具、對策ニ関シ協議懇  
談ヲ遂ゲ右ヲ通ニ在任朝鮮人ノ周知セシメ以テ動切  
ニ此指導ヲ加フル為新ニ一三七七ヨ円、補助金ヲ交ハス  
ル見込ミナリ。

六興生事業將來ノ對策ニ関スニ件

昭和二十一年年度以降ノ興生事業ニ関シ地方機構  
及之ハ重兵ノ事業等ニ関シ打合セラズニシ

引揚民事務所設置ニ関スル件 (昭和ニ〇九ニ〇次官會議)

一方針

382022

大東亞戰爭、終結ニ伴ヒ本州、四口、九州及北海道(以下内地ト称ス)以外、地域ヨリ内地ニ引揚ヲ為ス者及内地ヨリ朝鮮又ハ台湾ニ引揚ヲ為ス者ニ対シテ應急保護ノ實施ニ當ラシムル為ニ關係府縣ニ引揚民事務所ヲ設置セシムルトス

ニ要領

- (一) 引揚民事務所(以下事務所ト称ス)ハ門司、下関其他必要ナル地ニ設置シ其他ノ地ニハ必要ニ應ジ事務所ノ出張所ヲ設ケシムルトス
- (二) 事務所ハ所在地所管ノ地方長官ノ管理ニ屬シ左ニ掲ケル事項ヲ掌ルモノトス

(一) 引揚民ノ接待誘導其他輔導援護ニ関スル事項

(二) 食糧其他生活必需品ノ供與ニ関スル事項

(三) 應急醫療及助産ニ関スル事項

(四) 宿舍、斡旋及提供其他施設ノ設営ニ関スル事項

(五) 輸送ノ連絡調整ニ荷物ノ保管其他輸送ニ関スル事項

(六) 其他引揚民ノ應急保護ニ必要ナル事項

(三) 事務所事務所長及所員若干名ヲ置キ當該府縣及關係各廳職員ヲ以テ之ニ充ツルモノトスシ之ガ為ニ必要ニ應ジ府縣職員ノ増配置ヲ為スモノトス

(四) 内務省、外務省、厚生省、農林省、商工省、運輸省、地方總督府、朝鮮總督府、台灣總督府、樺太其ノ他關係各庁及恩賜、團戰、災援護會、賊団法人、中央學生會其他ノ關係団体ハ事務連絡ヲ其ノ職員ヲ事務所派遺シ事務所ノ運営ニ積極的ニ協力スルモノトス

(五) 本事務所ノ設置ニ要スル經費ヲ三六〇庫ニ特別ノ措置ヲ講ズルモノトス



382023

臨時引揚民事務所機構素

一事務所概不左、七班ヲ置キ其、事務ヲ分掌セシムトス

總務班 庶務、人事、會計ニ關スル事項、其他課、主管ニ關セズ事項

輔導班 接待誘導引揚証明書、交付其、他生活相談ニ關スル事項

医療班 医療及助産ニ關スル事項

物資班 食糧其、他生活必需物資ニ關スル事項

施設班 宿舍、斡旋及提供其他、施設ノ設営ニ關スル事項

輸送班 輸送ノ統制、荷物ノ保管其、他輸送ニ關スル事項

歸郷班 歸郷朝鮮人及台湾人ノ保護輔導ニ關スル事項  
各班、班長ニハ高等官タル所負ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

裏面白紙

警保局係發甲第三號

昭和二十年九月一日

寫 秘

厚生省 勤勞局長  
厚生省 健康局長  
內務省 警保局長  
內務省 管理局長

各地方長官 殿

朝鮮人集團移入勞務者等ノ緊急措置ニ関スル件

一 國釜連絡船ハ近ク運行ノ豫定ニテ、朝鮮人集團移入勞務者ハ次ノ如ク優先的ニ計畫輸送ヲナス。尚石炭山等ニ於ケル熟練勞務者ニテ在留希望者ハ在留ヲ許サスルコト。但、事業主ニ於テ強制的ニ勸奨セザルコト。  
(1) 輸送順位ハ概ネ上述勞務者ヲ先ニシテ石炭山勞務者ヲ最後トシ地味的順位ニ付テハ短距離輸有ニ於テ決定上關係府縣、發制會、受取、交通公社ニ連絡ス。

- (2) 所持品ハ携行シ得ル手荷物程度トシ有家族者ノ家族モ同時ニ輸送ス。
  - (3) 内地輸送中ノ辨當ニ付テハ考案中ナルモ可及的多量ニ携行セラルコト。
  - (4) 釜山迄ハ必ず事業主側ヨリ引率者ヲ附シ釜山ニ於テ引渡マニト。
  - (5) 口下ノ處輸送能力僅ク(一日平均千名以内)ナルヲ以テ輸送定了速ニ相當長期間ヲ要スル見込ニ付其間動搖セシメザル様指導スルコト。
  - (6) 歸籍者ノ母語ハ地方興生會ヲシテ極力之ニ當ラシムルト共ニ下関ノ宿泊施設ニ由リ興生會經營者移入勞務者放養施設ヲ利用セシムル方針ナリト。
- 二 歸籍セラル迄ハ現在ノ事業主ヲシテ引續キ雇傭セシメ置キ給與ハ概ニ從來通りト為スベキモノ九月十五日以降差當り左ノ如ク措置スルコト。
- (1) 從來通り就業スル者ニ付テハ事業主ヲシテ
    - ① 賃金ニ付テハ賃金規則ニヨリ從前通り給與シ得ル如ク計畫ヲ行ハシメ置クコト。
    - ② 賃金ノ支給ニ付テハ當座ノ小遣トシテ必要ナル程度ノ現金ヲ本人ニ手渡シ残金ハ各人名儀ノ貯金トナシ事業主ニ於テ保管シ置クコト。
  - (2) 右措置ハ鮮内トシ通信社總ニ依ル已ムヲ得ザルモノニシテ將來貯金ハ必ず本人ニ渡ス旨ノ周知徹底ヲ圖ハコト。

382025

① 休業止工場事業場及採業工場事業場、移入朝鮮人労務者ニテ  
就業セザルニ至リタルモノニ對シテハ事業主ハ差當リ標準報酬ノ額  
六割以テ休業手当ヲ支給シ宿舍食糧等ニ付從來通り取扱フベシ  
（今後ノ状態ニ依リ右休業手当ノ支給ニ要スル費用ニ就テハ國  
家補償ノ途ヲ講ズルコトナルベキコト）

② 家族送金一補給金ヲ含むニ就テハ別途指示ス

③ 集團移入労務者ニテ遊休ノ儘事業主ニ雇傭セラレアル者ニ  
對シテハ地方廳ニ於テ適宜道路工事焼跡清掃其他臨時作  
業ニ集團労力トシテ稼働セシメ差支キコト但此場合ハ從來  
事業主ト労務者ノ關係ハ其儘トシ一轄之ヲ使用シ稼働場  
所ハ概不同府界内ニ止メ之ガ掌握困難ニ至ルガ如キ方面ハ  
轉用ハ差控ヘルコト

尚此ノ場合ノ給與ニ付テハ昭和二十一年七月三十日付勤業部第八八四八  
號厚生省勤務局長及軍需省管理局長通牒ヲ勤勞  
協力ヲ爲ス者ノ給與ニ依ラレルコト

④ 一般改任朝鮮人ニ付テハ帰籍可能ノ時機ニ至ラバ詳細指示  
スルニ付ソレ迄現在地ニ於テ平穩ニ其ノ業務ニ従ヒ待機スル様  
指導スルコト

尚集團一般朝鮮人労務者ニ對シテハ可及的從來ノ雇傭主  
ヲシテ引續雇傭セシメノ食住等ハ從來通り取扱フベシ  
就労先ナキ場合ハ可及的一轄的一轄（組）又ハ飯場等ニ他ニ  
轉換セシムル様指導スルコト

以ニ

厚生省彙編第五二號

昭和二十年九月二十八日

厚生省健康局長

内務省警保局長

382026

各地方長官殿

各地方總監府

第三部長殿

終戦ニ伴フ内地在住朝鮮人及台湾人ノ處遇ニ関スル應急措置ノ件

首題ノ件ニ関シテハ朝鮮人及台湾人ト内地人トノ間ニ最モ緊密ナル關係ヲ確保維持スルヲ旨トシ道義ヲ重シシ益々相互ノ信頼ヲ昂メ永遠ニ巨リ共榮和親ノ實ヲ舉グルニ努メ新事態ニ對處スル左ノ應急措置ニ萬遺憾ナキヲ期シ苟モ両者間ニ罅隙ヲ生ジ禍根ヲ將來ニ懸スガ如キコトナキ様特段ノ御配慮相煩シ度

記

一、時局ノ急変ニ因ル人心ノ不安動搖ヲ除去シ一時ノ感情ニ趨リ又ハ偏見誤解ニ基ク輕率妄動ヲ防止スル為左ノ方途ヲ講ズルモノトス

イ、内地在住朝鮮人及台湾人トノ接觸聯繫ヲ更ニ密ニシ正確ナル内外ノ情勢ト詐ラサル事實トヲ周知セシメ人心ノ安定ヲ圖リ且圓滑裡ニ新事態ニ移行スルガ如ク中央及地方興生會、台湾協會等ヲシテ隨時時局對應協議懇談會ヲ開催セシムルモノトス

ロ、近時朝鮮人又ハ台湾人ノ自主的團體ニシテ戦災者ノ保護失業者ノ救済、歸籍歸台者ノ保護其ノ他ノ社會事業ヲ目的トスルモノ又ハ文化運動ヲ目的トスルモノ各地ニ結成セラレツ、アルモ右團體ニシテ眞ニ時局對應ノ諸施策實施ニ寄

與シ得ルモノハ之ヲ活用スルカ如ク指置スルモノトス  
 歸鮮又ハ歸台ヲ希望スル者ニ對シテハ其ハ希望ヲ容レ  
 依リ適切ナル保護ヲ與フルモノトス尚引續内地在住ヲ希望ス  
 ル者ニ對シテハ従前ノ處遇ヲ變更スルコトナク飽ク迄ニ職  
 ヲ以テ終始シ之ガ保護指導ニ付必要ナル指置ヲ講ズルモノ  
 ス  
 イ 歸鮮又ハ歸台者ノ輸送ハ集團計畫輸送ノ方法ニ依ルモノ  
 トス

右計畫輸送ノ順位ハ差當リ昭和二十年九月一日警保局保登  
 甲第三號「朝鮮人集團移入勞務者ノ緊急指置ノ件」ニ依リ  
 集團移入勞務者ヲ優先的ニ取扱フコトニシテ一般既住者ノ  
 輸送計畫ニ付テハ追テ之ヲ指示スルモノトス  
 ロ 地方興生會等ヲシテ一般既住者ノ歸鮮又ハ歸台希望ノ取  
 纏 乘車船券ノ共同購入其ノ他出發準備ニ關スル斡旋ヲ為

サシノ右計畫輸送ノ圓滑ナル實施ニ協力セシムルモノトス  
 ハ 歸鮮又ハ歸台ノ旅行ハ相当長日數ニ亘ルモノアルヲ豫想  
 セラルルヲ以テ旅行中ノ食糧其ノ他ノ生活必需品ニ關シ  
 出發地地方廳ハ特別ノ配慮ヲ為スモノトス

ニ 歸鮮又ハ歸台者ノ乘船地ニ於ケル一切ノ保護ハ別途通牒  
 ニ依リ引揚民事務所之ニ當ルモノトス  
 ホ 中央及地方興生會、台灣協會等ヲシテ歸鮮又ハ歸台待機  
 中ノ者ノ保護及旅行途中ノ誘導、休憩所ノ提供其ノ他ノ援  
 護ニ萬遺憾ナキヲ期セシムルモノトス

ハ 歸鮮希望者中貧困ニシテ旅費ナキ為歸郷シ得サル者ニ  
 就イテハ旅費ノ全部又ハ一部ヲ地方興生會ヲシテ支出セ  
 シムルモノトス  
 (右ニ對シテハ國庫補助ノ方途ヲ講ゼラレアリ)  
 三 興生事業ハ概ネ左ノ方針ニ依リ實施スルモノトス

382028

口 興生事業終戦ニ伴ヒ不必要又ハ實施不可能ト爲リタル  
 別紙事業ハ之ヲ停止シ其ノ地ノ既定計畫事業ハ之ヲ繼續實  
 施スルモノトス  
 ハ 中央及地方興生會、興生委員等ハ猶其ノ儘之ヲ存置スル  
 モノトス

有本館  
任任  
人服  
受

(別紙)

382029

時局急変ニ伴ヒ停止スベキ興生事業ノ概目  
第一地方廳ニ対スル興生事業國庫補助中停止スベキ事項

一 教育施設ノ実施ニ關スル事項  
二 興生教育講習會費國庫補助

三 皇民教育施設費國庫補助  
四 保健施設ノ実施ニ關スル事項

五 衛生思想普及費國庫補助  
六 保健指導費國庫補助

第二興生會ヲシテ実施セシムベキ國庫補助事業中停止スベキ事項

一 壯丁鍊成  
二 兵事思想普及

三 興生勤勞訓練所ノ設置  
四 移入勞務者定着指導

(指導班派遣・勤勞者代表郷土派遣家族代表内地招致)

五 會負章國語讀本等作成交付

六 勤勞報國隊訓練  
七 服裝改善指導

八 指導者修鍊會及補導員講習會ノ開催(但シ別途新規事業トシテ時局對應協議懇談會ヲ開催スルハトス)



運業輸ニ第ニ〇號

昭和二十年九月十二日

鐵道總局業務局長

382030

各局長殿

關釜並ニ博釜航路經由旅客輸送ノ件

關釜並ニ博釜航路ハ去ル八月二十八日ヨリ其ノ運航ヲ開始シタ  
ルモ現有輸送力ヲ以テシテハ到底一般ノ輸送要請ニ應スルコ  
ト至難ニツキ当分ハ一般旅客ノ取扱ヲ停止シ專ラ半島出  
身軍人軍属並ニ集團移入勞務者(徵用縣人勞務者)ノ集團  
復員輸送ニ充當ニ左記ニ依リ計畵輸送方取計相成度

一 期間

博多發 自九月十五日 至九月末日

仙崎發 自九月十七日 至九月廿九日

十月一日以降ハ本省月間計畵輸送ニ依ル  
之ガ爲九月廿日迄ニ本省ニ到達スル如ク輸送要請提出ノコト

二 取扱範圍

復員軍人軍属集團移入勞務者

三 運航  
輸送順位ニツキテハ關係府縣警察部ト連絡ノコト

區間	船名	定員	運航
仙崎・釜山	興安丸	四五〇	下リ奇數日發隔日運航
博多・釜山	德壽丸	二五〇	三日ニ往復運航

四 船席割當 (三等ハミ)

仙崎發各一日平均

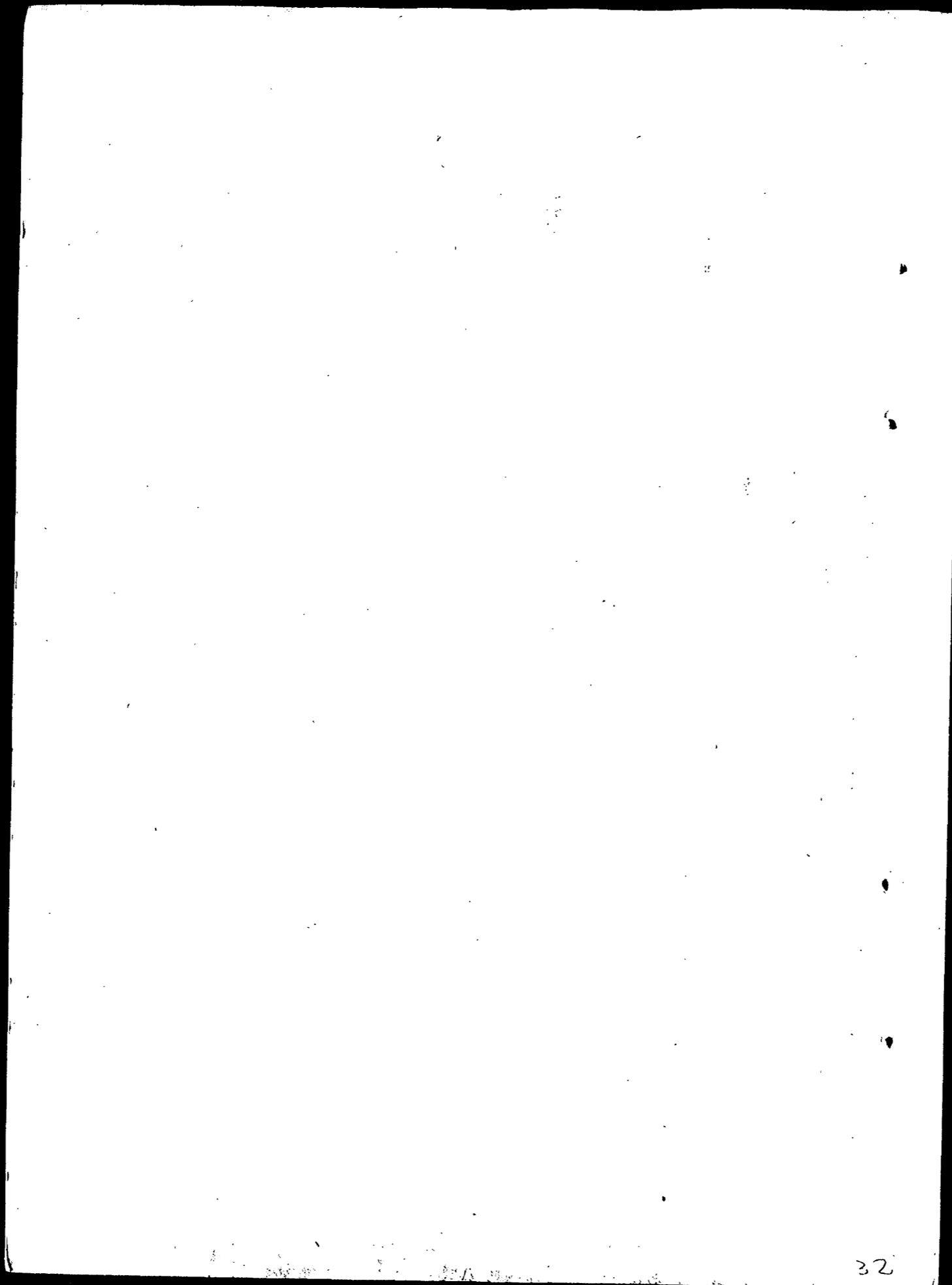
(東)五〇〇 (名)五五〇 (大)六〇〇 (広)五〇〇 (色)一〇〇

博多發各一日平均

(市)一三一〇 (新)一〇〇 (他)一〇〇 (札)一五〇

五 其他

輸送計畵ハ船便指定ノ前日正午迄ニ下向又ハ博多ニ到着スル如ク  
計畵ノコト  
荷物ハ手廻品ノ携行ノミニ制限シ手荷物及小荷物取扱旅行用品ハ之ガ  
取扱ヲナサズ  
食糧ハ寡クモ釜山到着迄ニ必要ノモノモ七日分携行ノコト(列車内ニ日  
船待ニ日船内一日予備ニ日)  
船便指定證集團代表ニ持參セシムルノ外集團名簿ニ通テ携行セシム



7 2.111.2 3  
Copy 1959

24 10/02

383884

319.1906